

# JITAN PRESS

2009  
SPRING  
issue

北海道自動車短期大学 広報紙 [ジタン プレス] Vol.6

平成21年3月3日(第6号) 発行／北海道自動車短期大学 編集／北海道自動車短期大学広報委員会

JITAN NEWS

実習紹介

改正について  
カリキュラム

クラッヂ分解・  
オーバーホール



# 実習紹介

今回の実習は  
「クラッチ分解・オーバーホール」

## 班ごとに分かれてスピードを競う

クラッチの分解は、トランスミッションを外す作業から始まります。14人の学生が2~3名ずつの班に分かれて作業開始です。「最初に終わった班には、全員10ポイントだよ」と、担当の中野先生。ポイントは成績に直結するため、学生たちも真剣です。

班ごとに順位を競わせているのは、整備現場で不可欠な「早く作業する感覚」を身につけるため。また、同じ班のメンバーが協力しあうことで、チームワークの大切さを知ることも大きな目的のひとつです。

初めてとは思えないほど手際のいい班もあれば、悪戦苦闘している班も。「頭を使ってやってね、考えながら」学生たちの様子を見回りながら、先生は次々に寄せられる質問に答えています。



## トップの班には全員10ポイント

休憩時間になると、先生の合図でびたりと手が止まりました。休み時間は一切作業できないルールですが、チェックはOKです。工程を再確認したり、他の班の進行状況をチェックする姿も。

作業再開してしばらくすると、「終わりました」という声が。きちんとクラッチも分解されていて、その班全員が10ポイントを獲得。最初に終わった班のメンバーは、他の班のサポートに回ります。そのおかげもあってか、続々と作業は完了していきます。

分解が終わったら部品をチェックして、次は取り付け作業です。こちらもトップの班は10ポイントですが、「早くてもダメ、ちゃんとエンジンがかからないと降着ですよ」と釘が刺されました。



## 具体的な実演でわかりやすく

クラッチの取り付け工程で重要となるのが、ミッションとエンジンの角度。1ミリでもずれていると、シャフトがスムーズに抜き差しできません。かなりの繊細さが求められる作業です。

ディーラーの工場長も務めた中野先生の指導法は、とても具体的。部品を手に取って、不調の原因を実演しながらわかりやすく教えていきます。「クラッチが滑る原因是? 正解したら1ポイントだよ」その声に、次々と学生たちの手が挙がります。「クラッチフェーシングの摩耗です」「はい正解!」。学生のガツツボーズに笑い声があがる中、いよいよ取り付け作業がスタート。真剣な表情に戻った学生たち……さて、今度はどの班が1位になるのでしょうか。



自動車整備を学ぶのに欠かせないのが実習。実際の車や部品を使って行われる実習の内容とは? ちょっと、一緒にのぞいてみませんか。今回は、自動車工業科第一部1年後期に行われる実習をレポートします。



今回の実習は、実際の整備現場ではだいたい3年くらいの経験を積んでから任されるようなレベルのもの。1年生にとってはまったく初めての作業ですから、出来なくて当たり前なんです。でも、うまくいかないのには理由があります。ミスの原因をしっかり認識することで、失敗から多くのことを学んでほしいと思っています。

気をつけているのは、自分の頭で考えさせるということ。まずは構造をきちんと理解させることを心がけています。ただ単に作業するのと、その原理をわかった上で作業するのとでは、大きな差が出ますから。実は、2年生で学ぶような内容まで教えています。今はその2~3割しかわからなくても、後で必ず役に立ちますからね。



技術・1級自動車整備士  
**中野 敏男先生**

# この先生が知りたい！

加賀田 誠 先生（准教授）

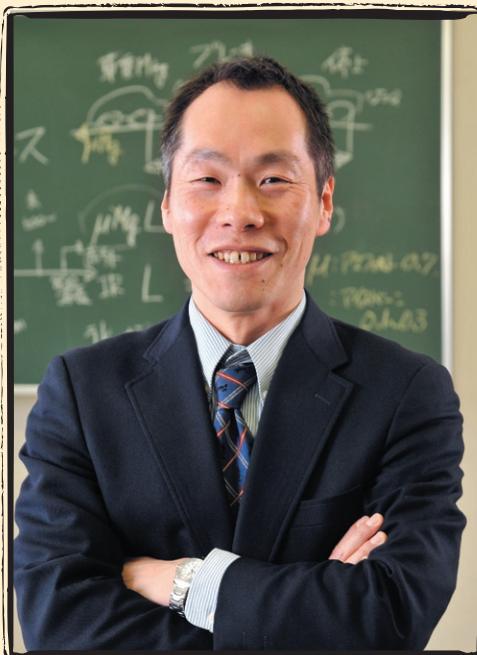
自短の先生ってどんな人たちなんだろう？  
という疑問に答える「この先生が知りたい」。  
今回は准教授の加賀田先生を紹介します。

## クルマに詳しくない学生でも大丈夫！ 自分で知識を吸収するコツも教えています。

現在は主に「エンジンの電装」など、電気関係の科目を担当しています。もともとの専門はコンピューターシミュレーションで、正直に言うと、それほどクルマ好きというわけでもないんです。私のような変わり種がいるのも、ジタンのいいところじゃないでしょうか（笑）。

大学というのは「学び方を学ぶ」場所です。ジタンで教えられる知識や技術は、基本中の基本ですから、とてもそれだけでは足りません。社会に出てからも常に学び続けなければなりませんが、大学で「学び方」を身につけていれば大丈夫。私自身、ほとんどゼロからスタートして一級整備士にも合格できましたから。

ここは目的がはっきりしている大学ですから、整備や板金といったハード面から、サービスや損害保険といったソフト面まで、クルマを核とした広がりのある展開が可能。「学び方を学ぶ」にはうってつけだと思いますよ。あと、学生たちにいつも言っているのは、自分でやったことの責任は自分で取りなさい、ということ。若いうちは失敗もいい経験に



なりますから、後はどうやってリカバリーするか。ジタンでの2年間でその姿勢も学んでほしいですね。



### Profile

- 昭和63年 北海道大学工学部卒業 一般企業を経て  
平成 2年 北海道大学工学部大学院修士課程入学  
平成 8年 北海道大学工学部大学院博士課程修了  
平成 8年 北海道自動車短期大学勤務

◆加賀田先生の趣味は映画鑑賞。劇場で見る映画は、なんと年間120本！ そのほとんどが洋画で、去年のベストワンは「ダークナイト」。気に入った作品はソフトを購入するそうで、写真は今や貴重品となつたレーザーティスクコレクションの中からセレクトしたもの。

勉強、趣味、遊び…。  
それぞれの夢に  
向かってがんばる  
自短生のコーナー!

# 学生紹介 がんばってます!

## 気合いでつかんだ日産の内定。GT-Rを整備するのが夢です。



自動車工業科第一部2年 中嶋千秋さん（札幌啓成高校出身）

就職活動は、とにかく気合いを入れてがんばりました。おかげで、第一志望の札幌日産に内定をいただきました。昔から日産のスポーツカーが好きで、ジタンに進学したのも日産に入社したかったから。面接で志望動機を聞かれたときも「日産以外は考えられないからです!」と答えたくらいです（笑）。その熱意が通じたんでしょうか。あとは二級整備士の試験に向けてがんばらなきゃ。面接官に「絶対受かります!」と言った手前、落ちるわけにはいきませんから。将来の夢は、GT-Rの整備。GT-Rには専用工場があるほどで、整備や点検は独自の研修を受けた認定メカニックしか出来ないんです。道内でも数人しかいないそうなので、ぜひチャレンジしてみたいですね。

## 自動車整備技能競技札幌大会で、見事優勝することができました。



専攻科車体専攻 菅原 恒平さん（美唄高校出身）

昨年の10月18日に開催された「自動車整備技能競技札幌大会」に、ジタン代表で出場しました。札幌地方自動車整備士振興会の創立40周年記念大会で、特別に学生の部が設けられることになったので、これはいいチャンスだと思ったんです。150ほどある点検項目をすべて覚えて、その後は先生や友達に協力してもらいながら、実戦に近い形で練習を重ねました。本番では40分の制限時間内で、テスターによる故障診断のほか、不具合箇所の発見を含んだ24力点検と、ユーザーに説明するアドバイザー競技などに挑戦しました。優勝できたのには自分でも驚きましたが、大きな自信になりました。機会があれば、またこういう大会で力を試してみたいですね。

## 仲間との楽しい日々を忘れずに、車体専攻でさらに上を目指します。



自動車工業科第一部2年 石塚 結衣さん（札幌夢似工業高校出身）

入学した頃は、まわりが男の子ばかりでちょっと不安だったんですが、すぐに慣れました。同じクルマ好きですから、男も女も関係ないんですよ。みんなで仲良くやっていたら、あっという間にもうすぐ卒業……なんだか寂しい気もするんですよね。卒業後は車体専攻への進学が決まっています。推薦で合格したんですが、日頃の成績が大事なので、試験前はとにかく勉強をがんばって、あとはなるべく休まないようにして評価点も上げました。今から楽しみなのが、専攻科の実習。研究課題で自分のクルマを全塗装するんですけど、どんな色にしようかあれこれ考えてます（笑）。でも、その前に二級整備士試験をクリアしなくちゃ……試験勉強、がんばります！



# 探職場

さまざまなフィールドで活躍するジタンのOB・OG。  
そんな卒業生たちのイキイキとした姿を  
現在の職場を通じて紹介する「職場探訪」。  
今回は北海道マツダ販売山鼻店の原 竜平さんです。



原 竜平さん

自動車工業科第一部 2008年3月卒  
北海道マツダ販売株式会社 山鼻店勤務

さまざまな事故につながりかねませんから、万が一にもうつかりミスのないように、作業時には何度もチェックするようになります。

もともとクルマが好きで、ガソリンスタンドでアルバイトしていました。その時にバイト仲間の先輩が「ジタンに行く」と聞いて、僕も行ってみようと思つたんです。在学中は自動車研究部でレース活動に熱中していました。また、自

治会長として、イベントの企画運営なども行つていきました。学生時代にいろいろな経験ができたことはありがたかったなと思いますね。

就職の際にディーラーを志望したのは、いろいろなクルマに触れてみたかったから。実際に働いてみると、本当に幅広い仕事ができることを実感します。最近では、タイミングベルトの交換など、ちょっと難しい作業も少しずつ任せてもらえるようになりました。先輩たちから技術を学んで、早く一人前の整備士になりたいですね。

アウトドアが好きで、冬場は休みのたびにスキーヘ行っています。毎週火曜日が休みなので、月曜の夜になるとニセコへクルマを走らせて、そのまま車中で寝て朝一番にゲレンデへ……というのがお決まりのパターンです。もつともっと腕を磨いて、将来はニセコに整備工場を持つのが夢なんですよ。





当日参加  
大歓迎!

# 3/14(土) 新2・3年生のための オープンキャンパス開催

オープンキャンパスを3月14日(土)に開催します。新2・3年生はもちろん、父母や先生、社会の方も大歓迎! 本学教員がナビゲート。入試相談コーナーもあります。ぜひお気軽にご参加ください!

13:00~  
(受付12:00~)

昼食・  
ドリンク付

循環送迎  
バス運行

●地下鉄中の島駅  
から本学まで

※詳しくはお問い合わせください。

スケジュー  
ル

12:00~	受付
12:30~	昼食
13:00~	ガイダンス
13:30~	模擬実習
13:30~	入試相談・奨学金相談



## 2009年 入試イベントスケジュール

### オープンキャンパス2009

第1回	6月 6日(土)
第2回	7月 4日(土)
第3回	7月26日(日)
第4回	8月 8日(土)
第5回	9月12日(土)
第6回	10月3日(土)

### チャレンジメカニック2009

第1回	5月23日(土)
第2回	6月20日(土)
第3回	8月 8日(土)
第4回	9月26日(土)

※チャレンジメカニックは、体験型実習です。  
(事前申し込みが必要です)

学校法人 北海道尚志学園

**北海道自動車短期大学**

〒062-0922 札幌市豊平区中の島2条6丁目2番1号

●地下鉄南北線「中の島」駅より徒歩13分

●じょうてつバス・南65の中の島線・環56平岸線「中の島1条6丁目」停より徒歩1分

00120-509-241 FAX (011) 821-7300

お問い合わせ…e-mail: nyushi@haec.ac.jp

w w w . h a e c . a c . j p

学校法人北海道尚志学園 ●北海道工業大学 ●北海道薬科大学 ●北海道総合電子専門学校  
●北海道尚志学園高等学校 ●北海道自動車学校

